

地方創生加速化交付金について

1 事業名：「宝塚 花の里・西谷」創造事業

(1) 事業の背景・概要

○本市は、市北部の西谷地域、全域を市街化調整区域に指定し、豊かな自然と農業環境を守ってきた。一方で、核家族化や農業離れの進行により、少子高齢化に拍車がかかり人口減少と共に地域の活力が低下しつつある。

○このような状況下で、2017年(平成29年)の新名神高速道路及びサービスエリア、スマートインターチェンジの供用開始を契機に、生活様式や農業環境の変容など時代の趨勢を受け入れつつも、地域が醸成してきたコミュニティや南部市街地と至近に残された自然環境を維持しながらの地域振興が課題となっている。

○このような背景の下、地域住民と合意の上で「北部地域まちづくり基本構想」を掲げ、参画と協働を基本として、「宝塚 花の里・西谷」で演出された豊かな田園風景を活かした体験型観光誘客と特産品加工品販売など新たな産業を掘り起し、地域の活性化を図る。併せて、土地利用規制の弾力的運用や空き家の有効活用を図ることで人口維持を図る。

○具体的には、観光農業や体験型観光を主体とするマップやパンフレット、ホームページなどを充実させ、サービスエリアを活用した観光誘客を図る。

○西谷産の原材料を使用し新たに開発する特産品を「宝塚 花の里・西谷」として地域ブランド化し、その管理や周知、販路開拓を進め、更にブランドを定着させるために花で彩る里づくりを支援する。

○花の里を代表するダリア園、牡丹園の集客力向上のため、それぞれの園芸組合が実施する駐車場整備を補助する。

○特に、ダリアの栽培においては、障害者の臨時的雇用に取り組む。

○空き店舗への新規出店に際して支援を行い、地域の賑わいと活力を生み出す。

○宝塚自然の家では、自然体験学習を主体とする魅力あるプログラムへのリニューアルを調査研究し、集客力UPを実現する。

○また、定住人口を維持するためには、移住を促進する必要があるため、集落単位の土地利用計画を策定し特別指定区域制度の導入により土地利用規制の弾力化を図るとともに、空き家や遊休農地に関する情報収集を行い、ライフスタイルの提案と併せて情報提供する仕組みを検討する。

○さらに、観光目的の来訪者や高齢化が進む地域住民の移動の利便性を向上させるために、公共交通網の調査研究を進める。

(2) 事業費

49,720 千円

2 事業名：「宝塚 地域資源を生かした活力あるまちづくり」 ～地域との連携による、まちの楽しみ方の創出～

(1) 事業の背景・概要

○宝塚市には、初演から100年を迎えた『宝塚歌劇』をはじめ、マンガの神様、手塚治虫氏の『手塚治虫記念館』、全国から多くの参拝者をお迎えする、かまどの神様『清荒神』や安産の神様『中山寺』など多くの観光資源がある。また、これらの観光資源の周辺にある、お土産や飲食など様々な店舗が、まちの魅力を彩り、雇用を生み、まちの活力を生み出してきた。

○しかし、阪神・淡路大震災の影響により観光客の動向が鈍り、観光客数は平成13年(2001年)をピーク(約1,079万人)に年々減少し、平成15年度(2003年度)の宝塚ファミリーランド(遊園地)閉鎖後は、850万人前後で推移、直近の平成26年度(2014年度)は約857万人となっている。また、市内の商店街では、事業主の高齢化が進むなど、空き店舗の割合が増している。

○一方、清荒神参道などでは若い事業者による既存店舗にはない業種の出店や、インバウンド誘致に向けた情報発信など活発な動きがあるほか、海外からの観光客は手塚治虫記念館を中心に増加しており、今後一層の集客が期待できる。

○このような状況の下、宝塚市国際観光協会はじめ、宝塚商工会議所や地元事業者、NPO団体、金融機関などと連携し、市内の観光の中心である観光プロムナード(宝塚駅から宝塚歌劇場、手塚治虫記念館、温泉施設、宿泊ホテル、お土産店など観光施設を回遊できるエリア)や、清荒神参道などの観光資源や周辺商店街等の魅力を増すとともに、その魅力を多様な情報手段を活用して国内外多くの人へ発信し、同時に来訪手続きができるような仕組みづくりをすることで、これまで以上に多くの観光者をお迎えする。加えて、市内でゆっくり楽しんでいただけるよう、歌劇団OGによるガイドツアーやイベント実施の助成をするなど来訪者の滞在時間を延ばして、まちの活力向上につなげていきたい。

○具体的には、①起業希望者に向けてのセミナー開催や指導、助言、支援により出店を促進し魅力ある店舗を誘致する施策、②歌劇やアニメなど宝塚観光の魅力を地元観光・商業事業者と連携し実施する宝塚アニメフェスタの開催や、歌劇団OGによるガイドツアーの実施、③地域資源の魅力をお届するとともに、ホームページから来訪、参加への手続きが一元的にできるホームページの立ち上げ、④宝塚温泉の効用、魅力を再発信する冊子の発行、⑤近隣の大学の外国人留学生を宝塚大劇場へ招き歌劇を紹介する事業、⑥来訪者の利便性を高めるとともに、情報発信も期待できる公衆無線LANの導入拡大などの実施である。

(2) 事業費

36,176千円